

第 10 回「学習意識調査」報告書について

1. 調査のねらい

藤沢市教育文化センターでは、1965 年（昭和 40 年）以降、5 年毎に中学校 3 年生の学習意識を調査してきた。そのねらいは、その時々における生徒の学習意識だけでなく、時代の趨勢を読み取り、これからの教育の方向を見定める上での重要な基礎資料を得ることにある。

2. 調査の項目

調査を開始した 1965 年（昭和 40 年）から 45 年間継続してきた項目は 7 項目である。また、45 年間の中で追加されてきた項目は 8 項目あり、今回は合計 13 項目で調査を行った。

3. 調査の方法

調査用紙を使用して、藤沢市立中学校 3 年生を対象に調査し、3,067 名分のデータについて集計・分析を行った。実施期間は 2010 年 5 月 25 日（火）～6 月 18 日（金）。

4. 結果の概要

(1) 帰宅後の勉強時間

- ・学校から帰ってからの勉強時間「毎日 2 時間以上」の生徒が増加した。
- ・「ほとんど勉強しない」生徒が減少した。

(2) 学校の勉強の理解度

- ・学校の勉強が「よくわかる」生徒が増加した。
- ・学校の勉強が「ほとんどわからない」生徒が減少した。

(3) 学校の勉強についていく自信

- ・学校の勉強についていく自信が「十分ある」生徒は 1995 年から横ばい状態である。

(4) 勉強の意欲

- ・「もっと勉強したい」生徒は 2000 年に底をつき、その後横ばい状態である。
- ・勉強に対するイメージを広く持っている生徒の方が勉強の意欲が高い。

(5) 勉強への集中度

- ・勉強に「いつも集中できる」生徒は 1990 年から横ばい状態である。

(6) 勉強以外の自由時間に対する願望

- ・勉強以外の自由時間を「もっとほしい」生徒は前回とほぼ変わらない。

(7) 勉強に関する悩み事の相談相手

- ・年上を相談相手とする比率が増加した。

(8) 勉強以外の悩み事の相談相手

- ・「父」「母」「担任の先生」への相談が増加した。

(9) 学校の中で一番大切に思うもの

- ・「勉強」が大切と回答した生徒が増加した。

- ・「友達づきあい」が大切と回答した生徒は1995年から常に70%台を保っている。
- (10) 学校以外での習い事
 - ・「学習塾」「スポーツ関係」は僅かに増加した。
 - ・「家庭教師」、「おけいごと・趣味」は僅かに減少した。
- (11) 学校と塾の比較
 - ・「親友がいるのは」と回答した生徒は塾より学校の方が圧倒的に多い。
- (12) 期待する授業
 - ・9タイプ中6タイプの授業に対し、80%以上の生徒が期待している。
 - ・一番期待度の低いタイプで、50%以上の生徒が期待している。
- (13) 学習意欲
 - ・(4)「勉強の意欲」が学習意欲を測る項目として適切か、という点における信頼性を確保するために設けた項目であり、調査結果より継続項目(4)「勉強の意欲」の信頼性を確保できることがわかった。
- (14) 勉強という言葉から思い浮かべるイメージ
 - ・「受験のため」とイメージをしている生徒が増加した。

5. 報告書の発行と配布先

- (1) 告書の体裁と発行部数 A4判、120ページ、2200部
- (2) 配布先 藤沢市内小・中・特別支援学校
県内外の教育研究所
教育委員会関係
- (3) 発行日 2011年3月

<資料>

- 1 2010年(平成22年)実施 第10回「学習意識調査」報告書
ー藤沢市立中学校3年生の学習意識ー